



文学部 歴史学科

日本史コース

FACULTY OF LITERATURE
DEPARTMENT OF HISTORY
JAPANESE HISTORY COURSE

学びの分野

日本史学

こんなキミに学んでほしい

日本史を学ぶために必要な基礎的知識や

読解力を身につけた人

日本の歴史や文化の専門的な知識を身につけたいという

意欲があり、自ら調査、分析ができる人

日本の歴史の大きな流れをつかみ、現在の社会や文化を

より理解するための力を養いたい人

歴史を学ぶことで、データから情報を読み取る力や、

未来への問題解決力を養いたい人

ワンポイントアドバイス

日本史コースの学生の中には戦国史愛好会や

近現代史料研究会といった大学公認のサークルに

所属する学生もいます。授業とは違うやりがいを感じながら、

好きな歴史を楽しんで学んでいます。

このコースがめざすこと

歴史を鵜呑みにせず検証する意識を育む

日本史コースでは、古代から中世、近世、近現代までを横断的に学び、歴史や文化の大きな流れをつかんだ上で、興味・関心に応じた専門的な学びを進めていきます。特徴的なのは、知識の蓄積にとどまることなく、史料に基づいた客観的な考察を重視していること。この「実証史学」に

基づく歴史研究は大正大学歴史学科の伝統でもあります。中世・近世の仏教関連の古文書や各時代の文献史料を豊富に所蔵しており、学生は史料読解の手法を学びながら歴史を探究していきます。歴史を知ることとは、現代社会の理解や課題解決にも役立ちます。

3つのポイント

歴史を俯瞰した上で 詳細な研究に挑む

古代・中世・近世・近現代それぞれを専門とする専任教員から、興味あるテーマに応じて直接指導を受けられるほか、一つの切り口で時代を横断する研究にも挑戦できます。

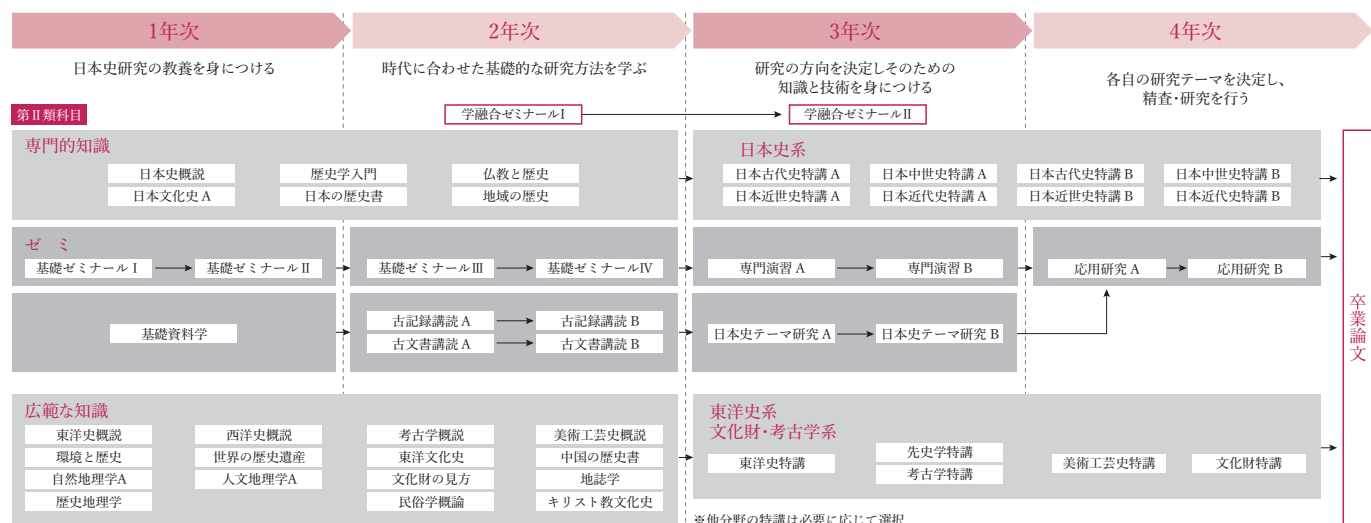
実証史学の考え方は 現代の課題解決にも有効

史料に基づいた客観的な歴史研究を重視する環境だからこそ、学生は情報の真偽を見極める力や論理的思考力が向上。現代における課題解決にも役立つ資質が育まれます。

歴史の“現場”に足を運ぶ フィールドワークも実施

史料に基づく研究に加え、歴史的な名所・旧跡を訪れるフィールドワークも重視。“現場”を自分の目で見て確かめることで、新たな史実に気づける可能性も高まります。

カリキュラム



日本史コースの“学びのフィールド”



歴史基礎ゼミナール（日本史）

「歴史基礎ゼミナール（日本史）」では史料講読の基礎を学ぶほか、学外の資料館に足を運び、歴史文化の体験学習も行います。2022年度は豊島区立郷土資料館を訪問。大正大学を含む地域の歴史を学んだほか、企画展示のポイントなど、学芸員による特別講義も行われました。

私の理論×実践

古文書に記された地元の歴史を解き明かしたい。

私は「くずし字」で書かれた古文書を読んでリアルな歴史に触れたいと考え、放課後に先生が開いてくれる「古文書寺子屋」に参加。一文字ずつパズルのように解読を進め、“日本語”ではあるものの新たな言語を覚える感覚でした。長野県の神社で見つかった古文書の解読に挑んだ際には、書かれた当時の村の経済状況や出来事がわかり、現代との共通点や相違点、因果関係も見えてくる点に古文書解読の醍醐味を感じました。卒業論文では地元・富山県「立山信仰」をテーマにして、村に与えた影響などを紐解いていきたいです。



岡本 恵梨
歴史学科
日本史コース 4年
富山県
上市高等学校
出身

TOPIC

難解な“くずし字”を読み解く喜びを味わえる

日本史コースでは、古文書をはじめとした史料を解読するために、くずし字の勉強にも挑戦できます。書き手によって判別の難易度が大きく左右されますが、歴史上の人物の日記や手紙などを自分の力で読み解けるようになれば、歴史をより身近に感じることができ、純粋にうれしいものです。大学院生や卒業生が「コンシェルジュ」として相談に乗り、アドバイスを行う体制も整っており、学生の学習意欲を高めています。



卒業論文一例

- 蘇我氏の実像
- 皇位継承上の女性天皇の位置づけ
- 中世武士の乳母と乳母子
- 足利義教の政治
- 徳川家康と豊臣秀頼の関係
- 自動車業界のパイオニアの思想と活動
— 明治・大正期を中心に —

担当教員

名前	職階	専門	研究内容
佐々木 倫朗	教授	日本中・近世史	東国を中心とする戦国史。中世から近世前期にかけての武家権力の研究。
白木 太一	教授	ポーランド史	近世ポーランドにおける国制・社会・文化の歴史的研究。西洋史学。
三浦 龍昭	教授	日本中世史	鎌倉・南北朝時代の政治史、中世前期の朝廷・公家の研究。
伊藤 宏之	准教授	日本地域史、中近世文化史	東国の地域社会、中世石造物の調査・研究。
木下 昌規	准教授	日本中世史	室町幕府と將軍権力、それに関連する公武関係についての研究。
櫛田 良道	准教授	日本近世史、近世仏教史	徳川將軍家の祈願寺、江戸時代の文化の研究。
中川 仁喜	准教授	日本近世仏教史	江戸時代の仏教史。政治と宗教の関係性や民間信仰や習俗、日光東照宮の研究。
松本 洋幸	准教授	日本近現代史	1920～30年代の「戦間期」と呼ばれる時代の政治史・都市史を中心に研究。
廣木 尚	専任講師	日本近現代史	明治・大正時代の文化史。近代日本の歴史学と社会の研究。

シラバス



https://www.tais.ac.jp/faculty/syllabus/

教員情報



https://www.tais.ac.jp/chinavi/